

第7期分別収集計画の内容説明  
 ～現行計画との比較～

第7期分別収集計画は、環境省から配付される「市町村分別収集計画策定の手引」に示された策定例に基づき市町村が作成する手順となっている。

しかし、6月初旬に東京都へ提出する日程から逆算して、今回の審議会にお諮りする必要があるため、前回（第6期）の作成手引に従って素案を策定した。

ご意見を伺った上で、4月中に計画案を作成し区として決定する予定である。

1 新計画の策定方針

「市町村分別収集計画策定の手引き」に示された策定例に基づき策定した。

また、上位計画である目黒区一般廃棄物処理基本計画と整合を図り、特定分別基準適合物等の見込量については、計画量と実績値が乖離しないよう最新の情報を活用しつつ、また他区の現行計画を参考に策定した。

2 新計画の変更点

項目ごとに、現行計画と比較して大きく変更になった点、追加した点は以下のとおり。

なお、数値（見込量）については、別資料を参照する。

現行計画	計画素案
1 計画策定の意義	
ごみの発生抑制や資源の有効活用をさらに推進することが必要 平成20年10月からプラスチック製容器包装等の資源5品目の分別回収や、サーマルリサイクルを目的としたプラスチック混合可燃ごみ収集が区内全域のごみ集積所で実施	ごみの発生抑制や資源の有効活用をさらに推進することが必要 古紙の集団回収への一元化を完了させ、古紙回収の効率化と区民との協働による回収を実施
2 基本的方向	
生産・消費・廃棄の各段階で、発生抑制、再使用、再生利用、熱回収、適正処分の優先順位に従い、容器包装廃棄物の削減と再資源化を推進する (以下省略)	特に変更なし
3 計画期間	
計画期間は平成23年4月から28年3月までの5年間、3年ごとに改定	計画期間は平成26年4月から31年3月までの5年間、3年ごとに改定

4 対象品目						
9種類			特に変更なし			
5 各年度における容器包装廃棄物の排出量の見込み						
下表のとおり						
容器包装廃棄物の合計	現行計画	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		19,171	19,060	18,906	18,769	18,615
	計画素案	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		18,900	18,860	18,715	18,610	18,475
6 容器包装廃棄物の排出の抑制を促進するための方策に関する事項						
徹底したPR・啓発の展開 (以下省略)			内容としての変更は特になし 一般廃棄物処理基本計画の施策を目黒区の現状に合わせ、排出抑制のための方策について整理			
7 分別収集をするものとした容器包装廃棄物の種類及び当該容器包装廃棄物の収集に係る分別の区分						
9種類6区分(省略)			特に変更なし			
8 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込み						
別表のとおり						
9 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び法第2条第6項に規定する主務省令で定める物の量の見込みの算定方法						
排出総量の実績、人口の推移、排出組成比率から算定			特に変更なし			
10 分別収集を実施する者に関する基本的な事項						
9種類6区分(省略)			特に変更なし			
11 分別収集の用に供する施設の整備に関する事項						
9種類6区分(省略)			特に変更なし			
12 その他容器包装廃棄物の分別収集の実施に関し重要な事項						
容器包装リサイクル法改正に伴い削除(平成23年8月改正:法第8条第2項第7号削除)						

【別表】 8 各年度において得られる分別基準適合物の特定分別基準適合物ごとの量及び容器包装リサイクル法第2条第6項に規定する  
主務省令で定める物の量の見込み

現行計画

(単位：t/年)

容器包装の種類	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
主としてアルミ製の容器	421	432	433	433	434	
主としてスチール製の容器	519	510	501	502	493	
無色のガラス製容器	合計量	1,067	1,079	1,072	1,073	1,064
	(引渡し量)	1,067	1,079	1,072	1,073	1,064
	(独自処理量)	0	0	0	0	0
茶色のガラス製容器	合計量	509	510	511	512	512
	(引渡し量)	509	510	511	512	512
	(独自処理量)	0	0	0	0	0
その他の色の ガラス製容器	合計量	1,057	1,050	1,042	1,034	1,035
	(引渡し量)	1,057	1,050	1,042	1,034	1,035
	(独自処理量)	0	0	0	0	0
主として紙製の容器であって飲料 を充てんするためのもの	69	98	128	158	187	
主として段ボール製の容器	3,621	3,523	3,402	3,298	3,193	
主としてポリエチレン テレフタレート製の容 器であって飲料又 はしょうゆ等を充 てんするためのもの	合計量	1,008	1,011	1,022	1,024	1,005
	(引渡し量)	1,008	1,011	1,022	1,024	1,005
	(独自処理量)	0	0	0	0	0
主としてプラスチック 製の容器包装であ って上記以外のもの	合計量	2,173	2,463	2,802	3,200	3,597
	(引渡し量)	2,173	2,463	2,802	3,200	3,597
	(独自処理量)	0	0	0	0	0
回収見込み量の合計	10,444	10,676	10,913	11,234	11,520	

計画素案

(単位：t/年)

容器包装の種類	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
主としてアルミ製の容器	417	419	418	418	418	
主としてスチール製の容器	445	436	425	414	404	
無色のガラス製容器	合計量	1,159	1,180	1,194	1,210	1,226
	(引渡し量)	0	0	0	0	0
	(独自処理量)	1,159	1,180	1,194	1,210	1,226
茶色のガラス製容器	合計量	526	532	534	537	540
	(引渡し量)	526	532	534	537	540
	(独自処理量)	0	0	0	0	0
その他の色の ガラス製容器	合計量	1,185	1,213	1,234	1,257	1,279
	(引渡し量)	1,185	1,213	1,234	1,257	1,279
	(独自処理量)	0	0	0	0	0
主として紙製の容器であって飲料 を充てんするためのもの	10	10	10	10	10	
主として段ボール製の容器	3,885	3,876	3,844	3,820	3,794	
主としてポリエチレン テレフタレート製の容 器であって飲料又 はしょうゆ等を充 てんするためのもの	合計量	1,164	1,224	1,277	1,332	1,386
	(引渡し量)	1,164	1,224	1,277	1,332	1,386
	(独自処理量)	0	0	0	0	0
主としてプラスチック 製の容器包装であ って上記以外のもの	合計量	1,706	1,645	1,575	1,508	1,440
	(引渡し量)	1,706	1,645	1,575	1,508	1,440
	(独自処理量)	0	0	0	0	0
回収見込み量の合計	10,497	10,535	10,511	10,506	10,497	